

作成日：2022年3月16日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 業務用ゴキブリムエンダー120R (販売名: キンチョウ QMP1a)
用途 : 殺虫剤
会社名 : 大日本除虫菊株式会社
住所 : 大阪市西区土佐堀1丁目4番11号
担当部門 : お客様相談室
電話番号 : 06-6441-1105
整理番号 : 1485

2. 危険有害性の要約

物理的・化学的危険性 : 通常の使用において危険はない。高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、火気の付近及び高温になる場所に置くと破裂・爆発する可能性がある。水回りや湿気の多い場所に置くと容器が錆び、内容液が漏出することがある。エアゾール原液: 引火性液体
健康有害性 : 飲み込むと有害のおそれ。
環境有害性 : 製品中に水生生物に対して毒性を示す成分を含む。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分 : <エアゾール原液>

フェノトリン 44.4 w/v% (原液 100 mL あたり)、

メトフルトリン 0.556 w/v% (原液 100 mL あたり)、香料、エタノール

<噴射剤>

液化石油ガス (LPG)

成分 : フェノトリン (ピレスロイド系殺虫剤)

化学名 : 3-フェノキシベンジル d-シス, トランス-クリサンテマート

化学式 : $C_{23}H_{26}O_3$

官報公示整理番号 : 化審法 (3)-4219、安衛法 4-(7)-998

CAS No. : 26002-80-2

成分 : メトフルトリン (ピレスロイド系殺虫剤)

化学名 : 2,3,5,6-テトラフルオロ-4-メトキシメチルベンジル (EZ) -
(1RS,3RS;1RS,3SR)-2,2-ジメチル-3-(プロパ-1-エニル)シクロプロパン
カルボキシレート

化学式 : $C_{18}H_{20}F_4O_3$

官報公示整理番号 : 化審法 (3)-4537、安衛法 3-(1)-74

CAS No. : 240494-70-6

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し安静保温につとめる。酸素吸入を行う。医師の診療を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 水と石けんでよく洗い流す。
- 目に入った場合 : 流水で十分に洗い流し、医師の診療を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄したあと、コップ数杯の水を飲ませ希釈し、可能であれば指を喉に差し込んで吐き出させ、直ちに医師の診察を受ける。患者に意識がない場合には口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

いずれの場合も医師の診察を受ける時は、本剤がピレスロイド系殺虫剤を含む製剤であることを告げて診療を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス、砂、耐アルコール泡
- 消火方法 : エアゾール周辺で火災が起きた場合、エアゾールを安全な場所に移動させる。それが不可能な場合は注水して冷却する。

6. 漏出時の措置

水まわりや湿気の多い場所に置くと容器が錆び、内容液が漏出することがある。
風下の人を退避させ、付近の火気に充分注意すると共に、通風等により換気を良く行う。漏出液を乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- ・ 噴射前に噴射口の方向を良く確認し、薬剤が顔にかからないようにすること。
- ・ 人体用（人体用虫よけ剤）ではないので、人体には使用しないこと。
- ・ 人体に向かって噴射しないこと。また、噴霧粒子を直接吸入しないこと。
- ・ 万一、身体に異常を感じたときは、本品がピレスロイド系の殺虫剤であることを医師に告げて、直ちに診療を受けること。
- ・ 今までに薬や化粧品などによるアレルギー症状（例えば発疹、発赤、かゆみ、かぶれなど）を起こしたことのある人、喘息の症状のある人などは使用前に医師又は薬剤師に相談すること。
- ・ 定められた使用方法を守ること。
- ・ 噴射中は噴射する人以外の人の入室を避けること。
- ・ 噴射直後は子供は入室しないこと。
- ・ 薬剤が皮膚についたときは、石けんと水でよく洗うこと。目に入ったときは、直ちに水でよく洗い流すこと。
- ・ アレルギー症状やかぶれを起こしやすい体質の人は、薬剤に触れたり、吸い込んだりしないようにすること。
- ・ 皮膚、目、飲食物、食器、おもちゃ、ペット類（観賞魚、水生生物、虫、小鳥など）、飼料、植物などにはかからないようにすること。観賞魚などの水槽のある部屋では使用しないこと。
- ・ 殺虫剤なので、子供には使用させないこと。
- ・ 閉め切った部屋や狭い部屋で使用する場合は、噴射後 30 分間閉め切った後、時々換気すること。
- ・ 電気・電子機器（テレビ、パソコン、オーディオ機器など）、塗装面、プラスチック、家具、建材、繊維製品、石材などに直接スプレーしないこと。
- ・ 缶を逆さまにして使用しないこと。
- ・ 出来るだけ 1 週間以上の間隔をあけて使用すること。1 週間以内に再度使用する場合は、噴射前に部屋を掃除すること。
- ・ 長時間閉め切って光が全く入らないような室内では使用しないこと。

保管：

- ・ 夏場の車内、ファンヒーターなどの周囲を避け、子供の手の届かない涼しいところに保管すること。
 - ・ 水まわりや湿気の多いところは、缶が錆びて破裂する危険があるので置かないこと。
 - ・ 捨てるときは、火気のない通気性のある屋外で、噴射音が消えるまでボタンをくり返し押ししてガスを抜き、地域の規則に従って捨てること。
-

8. 暴露防止及び保護措置

定められた使用方法及び使用上の注意事項に従って使用する。
 人体に向かって噴射しない。また噴射気体を直接吸入しない。

9. 物理的及び化学的性質

(エアゾール原液)

物理的状態

形状	: 液体
色	: 微黄色～黄色澄明
におい	: ほとんどにおいはない
引火点	: 17℃
密度	: 0.911 (20℃)
pH	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 室温において安定
反応性	: なし

11. 有害性情報

<フェノトリン>

急性毒性

経口	(ラット)	: LD ₅₀	>5000 mg/Kg
経皮	(ラット)	: LD ₅₀	>2000 mg/Kg
吸入	(ラット)	: LC ₅₀	>2000 mg/m ³
皮膚刺激性	(ウサギ)	: 刺激性なし	
眼刺激性	(ウサギ)	: ごく軽度の刺激性あり	
皮膚感作性	(モルモット)	: 感作性なし	

<メトフルトリン>

急性毒性

経口	(ラット)	: LD ₅₀	>2000 mg/Kg
経皮	(ラット)	: LD ₅₀	>2000 mg/Kg
吸入	(ラット)	: LC ₅₀	862-2030 mg/m ³
皮膚刺激性	(ウサギ)	: 刺激性なし	
眼刺激性	(ウサギ)	: ごく軽度の刺激性あり	
皮膚感作性	(モルモット)	: 感作性なし	

12. 環境影響情報

魚介類に毒性あり。

13. 廃棄上の注意

捨てる時は、火気のない屋外で噴射音が消えるまでガスを抜く。
 火の中に入れてない。
 使い切って捨てる。
 使用後は自治体の指導に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

- ・国連分類 : クラス2. 1 (引火性ガス)
- ・国連番号 : 1950 (エアロゾール類)
- ・容器等級 : —
- ・輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。温度の上昇を防止する。また、火気の付近に置かない。

15. 適用法令

- ・ 薬機法 : 防除用医薬部外品
 - ・ 消防法 : 危険物第四類第一石油類、危険等級Ⅱ
 - ・ 労働安全衛生法 : 表示対象物質 (エタノール、ブタン)
通知対象物質 (エタノール、ブタン)
 - ・ 危険物船舶運送及び貯蔵規則 : クラス2. 1 (引火性ガス)
 - ・ 高圧ガス保安法 : 適用除外
-

16. その他の情報

改訂の記録

作成日 : 2022年3月16日

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものではありません。定められた用法・用量及び使用上の注意事項に従ってご使用下さい。